

# 一般質問とは？

議員が行政に方針や施策、具体的な問題について質問をしたり、政策的提言をしたりすることです。  
通常は議会の本会議で行われ、質問は予め(本会議の1週間前)提出され、提出順に議員が質問します。  
議員の権利として希望した議員のみ登壇し、議員ごとに一括質問方式か一問一答方式が選択できます。  
質問事項の数の制限はありません。(令和3年9月定例から導入)

## 一括質問方式

議員が質問事項を一括して質問し、答弁者も一括して答弁を行います。

質問回数  
3回まで

## 一問一答方式

議員が1つ目の質問事項を質問し、答弁者が1つ目の質問事項について答弁を行います。1つの質問が終わったら2つ目の質問をします。答弁者は2つ目の質問についての答弁を行います。

質問回数  
制限なし

**問** 全体的には、捕獲数も被害も少なくなっているようだが、令和4年度で新島山下のダム工事も終わり、引き続き都道に続く水路工事も始まった。これからは、土石流の心配もなくなると思うが、新島山の鹿による被害(草木の被害)はかなりあるようだ。従事する皆さんの高齢化及び、新島山に登る方法等、課題は尽きないと思うが、対策

**一括質問方式**  
鳥獣対策は現状  
どうなっているか



まえ だ とし お 議員  
前田 寿夫 議員

# 一般質問

は考えているのか。

**答** 現在、従事者をお願いしているが、従事者の平均年齢は66歳と高齢のため、今後の捕獲作業が心配である。そのため、村から従業者の募集を行っているが、ほぼ無い状

況である。捕獲業務など他の方法も含め模索検討している。

なお、新島山に登る手段として、東京都の治山工事のモノレールを借りる予定だったが、故障により使用できず、修理が最遅で9月中には利用可能か。利用可能となったら新島山の状況確認と作業を進め、鹿の根絶に向け取り組んでいきたい(村長)



▲下から見た新島山(にいしまやま)の状況

## 一般質問



とみ た ひろ あき 議員  
富田 浩 章



観光事業に対する  
支援を

一括質問方式

**問** 今夏は台風の影響により幾日も欠航があった。また帰りの運行が保証できないためにキャンセルが相次ぎ、観光事業者は大きな打撃を受けた。例年と違うのは、東海汽船さるびあ丸の機関故障や連絡船にしきが運行していないことなど、自然以外の要因が大きく影響した。村はダメージを受けた観光事業者に何らかの

支援策を講じないのか？

**答** 観光産業への経済打撃に対してだが、自然災害などによる損失支援は基本行っていない。

**問** 再度尋ねるが、例年とは違う要因が大きく影響した。それでも支援をしないのか？

**答** 他島とも話し合って検討する。

**問** 東海汽船の現況は？にしきの復帰時期は？

**答** 6月下旬に推進システム損傷（アジマス）を示す警報が鳴る↓検査したが損傷箇所発見されず↓国交省より離接岸時以外アジマスを使用しないことを条件に運行（使用できないと巡航速度の低下、離接岸に時間を要す

る）↓7月8日から各島下り便のみ運行↓再び国交省より8月からアジマスを使用しないよう指示があった↓大島のみ運行↓10月10日から26日に広島県呉のドックで検査修理↓10月27日夜から従来ダイヤで運行する予定。

にしきについては当初9月頃の運行再開を見込んでいたが、国交省より安全を期すためにエンジンの全開放検査（3カ月を要する）を行うよう指示を受けた。検査官の判断により、追加検査がなければ12月頃を予定しているが、修繕の完了日については確実な日をお知らせできないのでご理解を。



▲機関故障したさるびあ丸（東海汽船HPより）

## 一般質問



おお ぬま ゆ み こ  
大沼 由美子 議員



新島村における  
「老老介護」の  
実情と対策

一問一答方式

**問** 先日、日本の高齢化率は約29%、10人に1人が80歳以上との政府発表があった。新島村も高齢化率約41%、島嶼部で第1位、人口約2500人中約1000人が65歳以上ということである。

このような高齢化社会において、多くの高齢者が人生の終盤で直面するのが「介護問題」である

う。なかでも、近年大きな社会問題となつているのが「老老介護」問題である。「老老介護」とは、高齢者の要介護者を高齢者の家族等が介護を担うケースを指し、厚生労働省の調査によると在宅介護の約6割を占め、そのうちの約3割が共に75歳以上の後期高齢者となつている。高齢者の介護者自身が過酷な介護生活において疲弊し、また社会的にも孤立し、共倒れ等が社会問題としてたびたび報道されている。新島村においても、住民の権利としての介護を含む高齢者福祉サービス等が的確に提供されているか、お聞きしたい。

新島村の「老老介護」の世帯数と介護サービス利用世帯数は。

**答** 新島地区は39世帯（介護、サービス利用世帯はそのうち17世帯）、式根島地区は22世帯（同じく21世帯）。

**問** 共倒れや孤立を防ぐ具体的な対策は。

現状にあつては、社会福祉協議会の高齢者等見守り相談窓口、老人ホームの地域包括支援センター、民生委員等の各関係機関で連携を取り合い、見守り、声かけのなかで個々の状況把握に努め、孤立することがないような体制をとつて対応している。

.....

**【独り言】** 当たり前のことだが、「高齢者福祉問題」は高齢者のみの問題ではない。人は皆、老いていくからである。不安の無い人生の終焉の姿こそ、その地域の豊かさの指標の一つと言えよう。また、新島には昔から「もやい」という素晴らしい共助の伝統がある。この精神が形骸化することなく、末永く継承できるように我々島民も改めて心すべきかもしれない。

.....



▲新島村老人介護の拠点。運営は「新島はまゆう会」

## 一般質問



あや とおる 議員 綾 享

4年間の村政に対する  
総括・評価を意識して  
質問する。



連絡船「にしき」は  
どうなる？  
年内完了をめざす！

一問一答方式

**問** 「にしき」にかかわり、  
行政に対する信頼は、い  
ちるしく低下した。これか  
らどうなる。

**答** 住民の皆さまには迷惑  
をかけ、心から謝罪する。  
(村長)

両舷 エンジン開放検査（  
約3ヶ月）の指示が出さ  
れ、現時点では、12月完  
了を目指す。運行再開ま  
で、代船での対応とする。  
(式根島支所長)

**問** 信頼低下の要因は、こ  
れといった対策が取られな  
かったことだ。

**答** 難しい条件が多々あ  
るが、代船に代わる船舶  
を村で保有することも前  
提に検討に入っている。  
ある程度のめぼしはつい  
ている。(村長)



いつ実現する？  
式根島での眼科専門  
診療。民間眼科医も  
視野に

一問一答方式

**問** 「お年寄りが多く、  
早くやってあげなければ」  
(村長)との答弁があっ  
た。言葉ではなく、スピ

ードある結果が大事だ。  
いつまでに実施するか。

**答** 最大の課題は、医師等  
の確保だ。民間眼科医も視  
野に入れ進めていく。紹介  
いただきたい。(診療所事  
務長)



東京の新たな常識！  
学校給食費の無償化  
決断を！

一問一答方式

**問** 2019年6月議会  
から4年間、5回の質問  
だ。東京23区中22区で実  
施・実施表明。多摩地区  
の市部でも拡大中。大島  
町でも検討が始まった。  
東京で、無償化は常識に  
なった。子育て世代の負  
担軽減のための支援とし  
て、重要な施策だ。早期  
実施の決断を！

**答** 実施する意義や、やり

たい希望は持っているが、  
実施の段階に至らない、と  
判断する。(村長)



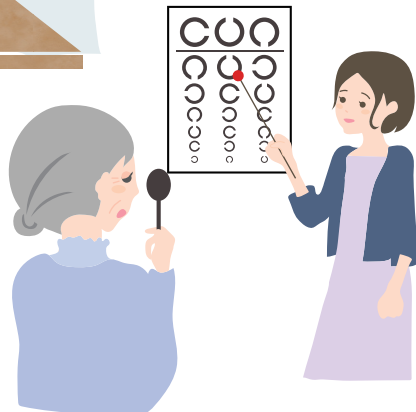
自らかかげた村民へ  
の公約 島外受診助成、  
いつ解決するか？

一問一答方式

**問** 毎年700万円前後  
で、住民から評価され定  
着した制度だ。年齢制限

で、一部の村民が除外さ  
れたままでいいわけがな  
い。「すべての住民を対  
象に」というのは、村長  
自らの課題であり、住民  
への公約だ。いつケリを  
つけるか。

**答** 継続的事業として、財  
源確保が難しい。(村長)



## 一般質問



議員 佳利保小久

一問一答方式

**空き家対策・定住化対策は？ 住宅不足をどうするか？**

**問** 6月、8月と実施した空き家実態調査の状況は？

**答** 現在調査中。調査会社によると現在、新島・式根島合わせて188件の空き家が確認されている。今後アンケート等で所有者への確認作業を行い、適正管理のお願いと空き家の利活用、空き家バンク制度への理解を深めてもらい、放置

につながらないようにする。(企画調整室長)

**問** 空き家と移住定住のポータルサイト「フロアライフ」ができた。体験住宅、空き家、仕事、移住者のコラムなどがまとまっており、島の暮らしもQ&A形式で書かれていて非常にわかりやすい。村として空き家と定住化の事業が進んできたと思うが、その後のマッチング実績はいかがか？

**答** マッチングは20件以上あり、家具付借家等は募集をかけるとすぐ埋まってしまっている。今は土地のみの空き家バンクの登録となっている。今年度、3件ほど空き家バンクの登録をする見込み。(企画調整室長)

**問** オーナーが高齢者であれば所有者が代替わりした場合、空き家登録の話が進

んでいたとしても白紙に戻る可能性もある。スピードを持って動くべき。空き家・移住定住の問題は人口減少に直結し、人材不足が進み、村の問題としては優先順位が高い。住宅不足解消に向けた一刻も早い対策を望む。

**答** 現在、新島においては移住定住促進化住宅建設事業が進行中。来年度には住宅4戸を整備していく。また式根島については住宅建設予定地の選定にかかっていると。(村長)

設置場所は新島空港の南側交通公園の西側。4戸については家族、ファミリー層を第1ターゲットに考えている。(企画調整室長)

グローバル社会を見据えた国際交流を！

一問一答方式

**問** 海外の都市との連携は

文化交流や産業振興の活発化。交換留学などを通じて、子供たちへのグローバル教育が進むことも大いに期待される。わが新島村も世界の地域とも姉妹島盟や姉妹都市友好都市を検討してはいかがか？

**答** グローバル社会に生きる現代人にとって、海外の姉妹都市友好都市との国際交流については、とても重要な。新島村でも今後人と人の結びつきや何らかの接点

を探していき、姉妹都市友好都市に繋げていく必要がある。(村長)

教育面では英語と語学力の向上や国際理解のための学習、ICT教育の推進と、今後ますます重要な課題となっている。新島村としても重要課題に位置づけ、充実に努めている。どこかいい接点・繋がりのあるところ、また新しい出会いによって、それぞれの地域が活性化していくことは好ましい。(教育長)

人生の通過点に「島」という選択を

東京から約160km南の洋上に浮かぶ、新島と式根島という2つの島。都会でもなく、田舎でもない。何にもないけど、何でもある。島に自分をゆだねてみれば、新しい暮らしが見えてくる。FlowLifeは新島・式根島への移住・定住がテーマのサイトです。

▲新島村移住定住ポータルサイト「FlowLife」は、新しい場所に身をゆだねるという意味と、島のくらし・仕事・文化に触れ豊かな人生を送ってほしいという願いが込められている。

<https://flowlife.tokyo>

一般質問



よしみ かず ゆき 議員



失われつつある  
新島のサーフィン

一問一答方式

く、また島の財政では賄えないため、国や都の力を借りなければ実現できない。

**問** 新島のサーフインは観光資源であるとともに地域に根付いた文化でもある、そのことから検討委員会等を立ち上げ、村が中心となって早急に取り組んでいただけないか。

**答** サーフポイントの造成を目的として海岸線に手を加えるようなことは前例が無く、東京都等の理解も得られるかわからない。この場で即答はできないが、実現の可能性は探っていきたい。

**問** 可能であれば、東西南北にポイントがあり、初心者や子供たちも身近にサーフィンができる環境を作りたい。結果として観光の活性化につながると思うので、是非取り組んでいただ

けるようお願いしたい。

一問一答方式

来季の観光業に向けて  
最大限の取り組みを！

**問** 今シーズンは、さまざまトラブルと台風の進路に振りまわされ、関係者は対応に翻弄したと思うが、来季に向けた取り組みを考える必要がある。なかでもキャンプ場の予約数が少なすぎたこと、羽伏浦のサイクリング道路の分断について、新島村として来季に向けた計画は？

**答** キャンプ場については東京都と協議を行い、より多くの利用ができるよう交渉していく。羽伏浦サイクリング道路については、羽伏浦正面ゲート周辺の護岸工事が計画されており、道路については護岸工事が先行となるので、今しばらくかかる。

**問** キャンプについては諸説あると思うが、無事な道路の地盤を保護する観点からも盛土だけでもいい、仮設道として使えるよう検討していただきたい。

【ひとり言】 夏季シーズン中は、ビーチクリーンをはじめ子供たちを楽しませるためのアクティビティ体験など、有志によるボランティア活動が多く見られ

た。また式根島にサーフィンに行く女性や子供たちを見て、とても新鮮な気持ちになり、改めて女性や子供たちが安全に楽しめる環境こそ観光の原点であると確信した。ボランティア活動をしている有志の方々に比べ、自分はまだまだ何も成していないと感じた。議員として、住民として、できる限りのことをやっていこうと思う。



▲サーフポイント造成を提案する3つの理由

1. 新島の観光資源の中でも唯一他に負けず、集客効果が最も見込めるものであり、現実に観光の衰退とサーフィンの衰退はシンクロしている。
2. 新島のサーフィンが人材確保や移住等、交流人口の拡大において最も有力な理由となる。
3. 沖合に浅瀬を造成し強制的に波を崩すことにより、海岸浸食や塩害の軽減になり、結果としてサーフポイントの造成にもつながる。

## 一般質問



前田 勝利 議員

一括質問方式

「新島の大踊  
(おおおどり)」の  
保存継承について

**問** 昨年11月、「風流（ふりゆう）踊（おどり）」がユネスコ無形文化遺産に登録され、「新島の大踊」もこの中に入っている。

「新島の大踊」は、本村・若郷地区とも年々、継承者が少なくなっており、このまま推移すると継承が困難になることが予測される。大踊の継承を困難にさせた要因は、現在社会・経済状

況のなかで生じた大きな変化を挙げることができ、大踊それ自体の中にも継承を困難にさせる要因が潜んでいる。

大踊の歌は極めて高度なテクニクを要するものであり、踊りはその魅力存分に引き出すにはかなりの熟練を必要とする。大踊の継承で第一の難問は極めて難しい曲である大踊の歌の伝承者をどのように育てるかという点である。

「新島の大踊」の現状をどのようににとらえているのか、今後どのように保存継承事業に取り組んで行くのか。

**答** 質問の趣旨と今後に寄せる思いや心配の気持ち、また課題に対する認識は全く同感、共有させていただく。ユネスコ無形文化遺産に登録されるような「大踊」という長い歴史に培

われ、継承されてきた新島村の貴重な文化を誇りとし、その価値を改めて見直し将来に繋げていくことが大切。

今、時代背景の中で過渡期にあると思っているが、地域に暮らす私たちがこの文化を大事とし、将来に繋げていきたいと思う気持ちが高まるのが継承の途が確保されることの一歩のポイント。時代の変化に対応した保存継承の在り方を探っていく。（教育長）

**問** 新島の子供たち（小学生・中学生）は、「大踊」

のことをよく知らないのではないかと感じている。ユネスコ無形文化遺産に登録されたからと喜んでばかりいられない、子供たちに伝えていくことが大事。

先輩から後輩へ保存継承できなければ終わってしまうので、今は重大な局面に

あると感じている。本村と若郷の合同会議を開催するなど、課題を整理し、今後の取り組みで保存継承できるかどうか決まると思うが。

**答** 最近、中学校の授業で大踊を取り上げている。子

供たちは、大踊に対して、やってみたいという魅力を感じられず、これは大人についても同様。やってみたいと思わせる取り組みが大事。今後、次世代に着実に継承される具体的な取り組みをしていく。（教育長）



▲若郷の大踊は文化庁企画第54回全国民俗芸能大会にも出演した。